

おかざき木づかい塾 2023 参加者募集要項

■趣旨

岡崎市はその優れた立地環境から、昔より、豊かな森林資源と木なりわいが育まれ、川上の森林、川中の木なりわい、川下の木のライフスタイルまでが繋がりを、長い歴史を経て蓄積されてきていますが、残念なことに、こうした豊かなお宝＝地域資源（ヒト・モノ・コト）は、現代社会の中で埋没し、見えにくくなっています。

しかし、2010年の木材利用法施行によって流れが変わり、2021年の改正によって、その対象が民間施設まで拡大され、全国的に木材利用が促進されて地域を活性化させる事例が増えてきました。そこで、本市においても木材利用を通じて、埋没しつつあるこの豊かなお宝を再生します。

そのためには地域を育む知恵を学び、岡崎の市民が自ら創り直す機会が必要になります。

さらに、それらを形にする木造建築の設計者を養成していくことも重要です。

一方的に知恵を学ぶだけではなく、自ら考えるワークショップ（WS）を開催し、市内のリアルな現場を会場に、全5回のWSを実施して、持続可能な地域の仕組みづくりを創出します。

■開催内容

○期 間：8月から12月まで 毎月1回で5回開催

○会 場：各回会場設定

○募集定員：30名

○募集対象：設計事務所設計士・行政・民間・木材関係者等

○参加費：一人 15,000円（3,000円/回・昼食弁当付×5回）

※ 全5回の参加をお願いします。各回だけの参加も可能ですが、人数に限りがあります。

○主 催：岡崎市・株式会社もりまち

○協 力：公益社団法人 日本建築家協会 東海支部愛知地域会、公益社団法人 愛知建築士会岡崎支部、公益社団法人 愛知県建築士事務所協会、西三河林材団体連合会

※ CPD 全日参加で30単位付与予定（6単位/日）

■申込方法

件名に、「おかざき木づかい塾参加申込」と記載し、本文に、①参加者の住所、②氏名、③電話番号（当日連絡可能な電話番号）、④メールアドレス、⑤交流会の参加の有無を記載してください。

各回だけの参加の場合は、⑥として、第●回に参加と記載してください。

送付先は、岡崎市森林課のメールアドレス（shinrin@city.okazaki.lg.jp）に送信してください。

申込期限は、令和5年7月28日（金曜日）です。

応募多数の場合は、抽選とさせていただきます。

参加通知は、本文に記載されたメールアドレスに送信させていただきます。

○ 株式会社 もりまち

岡崎市内の森林を活用して、林業6次産業化、中山間地域の活性化を目指し、森林・林業に関する事業者で出資した地域商社。

出資者は、岡崎市、特定非営利活動法人アースワーカーエナジー、株式会社 トビムシ、岡崎森林組合、一般社団法人 奏林舎。

■プログラム

【第1回】 「なぜ今、おかざきの木を使うのか！」

これからの岡崎市のまちづくりで地域材の利用を通じてまちづくりをしなければいけないのかを考える機会とする。その社会的背景や木材利用の利点や公共施設の木造化の必要性についてガイダンスする。

日時：8月17日（木）（10時～17時）

会場：葵丘 岡崎市明大寺町西郷中 39-77 10時：現地集合・17時現地解散

- 1) ガイダンス：趣旨説明・WSの進め方 事務局 20分（10時～10時20分）
- 2) 講話1：「なぜ今、おかざきの木を使うのか！」講師：杉本洋文氏 90分（10時30分～12時）
- 3) 昼食：60分（12時～13時）
- 4) 講話2：「岡崎市の木づかいの現状」岡崎市職員 60分（13時～14時）
- 5) 講話3：「林業の現状と木材利用の課題」（株）モリアゲ代表 長野麻子氏（岡崎市森林活性化アドバイザー） 60分（14時～15時）
- 6) 休憩：15分
- 7) WS： 「岡崎市のまちづくりに必要な木材利用について」105分（15時15分～17時）
5～6人のグループに分けて、模造紙とポストイットを使って、WS形式で話し合う。最後、各グループで発表。
- 8) 交流会：17時30分～ 自由参加・会費徴収（3,000円程度）・会場 葵丘

【第2回】 「おかざきの森林資源を知る」

森林の現場で森林・林業の現況を把握するために、岡崎の森林・林業の現場を視察する。

日時：9月21日（木）（9時～18時）9時：岡崎市役所集合・18時：市役所解散

会場：岡崎市農村環境改善センター・体育館

岡崎市役所西庁舎正面玄関ロータリー集合 9時 バス移動（約1時間）

- 1) ガイダンス：杉本洋文氏＋森林組合 20分（10時集合～10時20分）
- 2) 視察：森林・林業の現地見学 90分（10時20分～12時30分）
- 3) 昼食：60分（12時30分～13時30分）
- 4) 講話：「岡崎市の森林林業の現況と課題」講師：荻野昌彦氏（岡崎森林組合 組合長）60分（13時30分～14時30分）
- 5) 休憩：15分
- 6) WS：「岡崎の森林・林業の活用について」120分（14時45分～16時45分）
岡崎の木をどのように使うことが必要なのか、森林・林業の現状を把握してその課題を解決する方法を提案する。

- 7) バス移動：18時市役所解散
- 8) 交流会：18時30分～ 参加自由・会費徴収・会場市内（未定）

【第3回】 「おかざきの木なりわいを知る」

木材の製材や加工などの匠の力を学び、その活用を考える。

日時：10月19日(木) (9時～18時) 9時：市役所集合・18時：市役所解散

会場：NPO アースワーカーエナジー農産加工施設と農地・旧大雨河小学校

岡崎市役所西庁舎正面玄関ロータリー集合 9時 バス移動（約1時間）

- 1) ガイダンス：「木材の生産と加工技術」 杉本洋文氏 15分 (10時～10時15分)
- 2) 現場見学 NPO アースワーカーエナジー農産加工施設 講師：小原淳氏（NPO アースワーカーエナジー理事長）75分 (10時15分～12時00分) 見学とレクチャー
- 3) バス移動 現場から旧大雨河小学校 (12時00分～12時30分)
- 4) 昼食 60分 (12時30分～13時30分)
- 5) 講話「木材の強度性能」講師：山崎真理子氏（名古屋大学教授） 60分
- 6) (13時30分～14時30分)
- 7) 休憩 15分
- 8) WS「岡崎市の木なりわい産業の活用と再生」120分 (14時45分～16時45分)
- 9) バス移動 18時市役所解散
- 10) 交流会：18時30分～ 自由参加・会費徴収・会場市内（未定）

【第4回】 「おかざきらしい木のライフスタイルを創る」

地域の木を使った器、家具、建築を見学しながら、現代の暮らしに活かすアイデアを考える。

日時：11月16日(木) (9時30分～17時30分) 9時30分：市役所集合・17時00分：市役所解散

会場：岡崎製材 Living style How's 岡崎市戸崎元町4-1

・市役所西庁舎 701号会議室

岡崎市役所西庁舎正面玄関ロータリー集合 9時30分 バス移動（約30分）

- 1) ガイダンス：「木を活かしたものづくり」杉本洋文氏 15分 (10時～10時15分)
- 2) 現場見学：岡崎製材 講師：八田欣也氏（岡崎製材(株)代表取締役社長） 90分 (10時15分～11時45分) 施設見学とレクチャー
- 3) バス移動：(11時45分～12時15分) 市役所西庁舎 701号会議室
- 4) 昼食： 60分 (12時15分～13時)
- 5) 講話1：「フェアウッドによる家具づくり」 講師：佐藤岳利氏（(株)ワイズ・ワイズ最高執行責任者）60分 (13時～14時)

地域材を活かした家具づくりとまちづくりを提案しているプロジェクトを紹介いただく。

- 6) 講話2:「街にアートを、暮らしにアートを！」 講師:小塚陽子氏
(有)アルテシテ代表取締役) 60分(14時~15時)
アートをテーマにライフスタイルの提案やまちづくりについて紹介していただく。
- 7) 休憩:15分
- 8) WS:「おかざきの木をデザインし、ライフスタイルをつくる！」105分(15時15分~17時)
岡崎の木を使って豊かな暮らしをデザインする。
- 9) 交流会:17時30分~ 自由参加・会費徴収・会場市内(未定)

【第5回】 「つなぐことから始まる木づかいネットワーク」。

岡崎のお宝(地域資源)を繋ぐ仕組みを考える。

日時:12月1日(金)(10時00分~16時45分) 10時:岡崎学区市民ホーム集合:16時45分散

会場:岡崎学区市民ホーム 岡崎市針崎町フロ1-2

小原木材(株) 岡崎市針崎町蓮谷37

岡崎学区市民ホームに現地集合

- 1) ガイダンス:「木づかいネットワークの大切さ」 講師:杉本洋文氏
- 2) 15分(10時~10時15分)
- 3) 講話1:「岡崎市の木材利用の現状(川上・川中・川下の関係性)」講師:小原淳氏
(小原木材(株)代表取締役社長) 105分(10時15分~12時) 現地見学を含む
- 4) 昼食 60分(12時00分~13時00分)
- 5) 講話2:「森・ひと・匠の一円融合 ~小田原の木づかい~」 講師:高木大輔氏
(小田原地区木材業協同組合 専務理事) 60分(13時00分~14時00分)
小田原市の木材利用の取り組みとネットワークについて。
- 6) 講話3:「繋ぐデザイン:新しい共同体のデザイン」 講師:若杉浩一氏
(武蔵野美術大学教授) 60分(14時00分~15時00分)
スギダラ倶楽部の活動をはじめ各地で地域を連携した木材利用を実践的に提案している。プロジェクトの紹介。
- 7) 休憩 15分(15時00分~15時15分)
- 8) WS「岡崎の木づかいネットワークはどうしたら実現できるか」90分(15時15分~16時45分)
岡崎の川上・川中・川下のお宝(地域資源)をつなぐ仕組みはどの様にしたら実現できるか?
- 9) 交流会:17時45分~ 自由参加・会費徴収・会場市内(未定)

■講師紹介 (随時更新します)

●各回のコーディネーター 杉本洋文 氏

((株) 計画・環境建築代表取締役会長、元東海大学教授、ウッドデザイン研究所代表)



プロフィール：

1972年東海大学工学部工学研究科修了、現会社に入社、社長を経て、2004年東海大学教授に就任、2019年退職、現在、国交省2011年より「官庁施設における木造耐火建築物の整備手法の検討会」「国土交通省大学校講師」2017年より「官庁施設における多様な木造建築の整備手法に関する検討会」、林野庁2013年より「森林研修所講師」、奈良県では2005～2010年平城遷都1300年記念事業会場プロデューサー、2015年から「奈良の大学講師」2018年から「奈良の木販売促進アドバイザー」に就任している。

木造を中心に建築作品を発表、全国各地で地域資源を活かしたまちづくり、NPOアーバンデザイン研究体理事長として都市研究に取り組み、市町村の都市計画審議会委員の業績多数。

受賞歴

2019年都市計画法・建築基準法100年記念国土交通大臣表彰を受け、日本グッドデザイン賞、木材活用コンクール優秀賞、日本建築家協会作品選集、日本建学会作品選集など多数。

建築作品

松田町立小学校 (22) 道の駅「金太郎のふる里」(21) シダーアリーナ(18) 流星庵 (11) 塩原温泉「湯っ歩の里」(07) 高尾森林ふれあいセンター (04) どんぐり子ども図書室(13) 山安鎌倉店 (12) 道の駅「みかも」(07) 塩原温泉「湯っ歩の里」(07) 奥津温泉「花美人の里」(01)

など数多くの木造を手がけている。

著書「キズカイのケンチク」「Local Design Lab」「ローカルファストが日本を変える」「被災地とともに歩む」「復興まちづくりの知恵袋」

【第1回】

●長野麻子 氏

((株)モリアゲ代表、元林野庁木材利用課長、岡崎市森林活性化アドバイザー)



(撮影：今村拓馬 BUSINESS INSIDER)

プロフィール：

愛知県安城市生まれ。岡崎高校、東京大学文学部フランス文学科卒。

1994年に農林水産省に入省し、林野庁企画課、フランス留学、バイオマス・ニッポン総合戦略検討チーム、国際調整課、(株)電通出向、水産庁水産経営課、食品環境対策室長、大臣官房報道室長、新事業・食品産業政策課長などを歴任。

2018年から3年間林野庁木材利用課長として、木材利用を促進するため「ウッド・チェンジ」を各地で叫び続ける。

豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。

同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ (<https://mori-age.jp>) を設立。

【第2回】

●荻野昌彦 氏

(岡崎森林組合 組合長)



プロフィール：

1958 年生まれ

1983 年 4 月 額田町森林組合職員採用

1988 年 5 月 岡崎製材株式会社入社

2014 年 6 月 岡崎森林組合理事

2015 年 6 月 岡崎森林組合代表理事専務

2023 年 6 月 岡崎森林組合代表理事組合長

【第3回、第5回】

●小原 淳 氏

(NPO 法人アースワーカーエナジー理事長、小原木材(株)代表取締役社長)



プロフィール：

3年間製造業にて商品企画・開発、販売促進を3年間担当

27歳にてコンセプトデザインを主体としたコンサルティング会社を起業

主なクライアントにNTT、KDD、日銀、高島屋、西武百貨店、清水建設、三菱銀行、三井不動産他、団体、個人

1991年 NPO アースワーカーエナジー設立「産業と環境の調和」の実現に向け活動

2001年 内閣府認証 特定非営利活動法人アースワーカーエナジー 理事長就任

2002年 小原木材株式会社 代表取締役就任

2008年 愛知県岡崎市にて「天使の森プロジェクト」始動

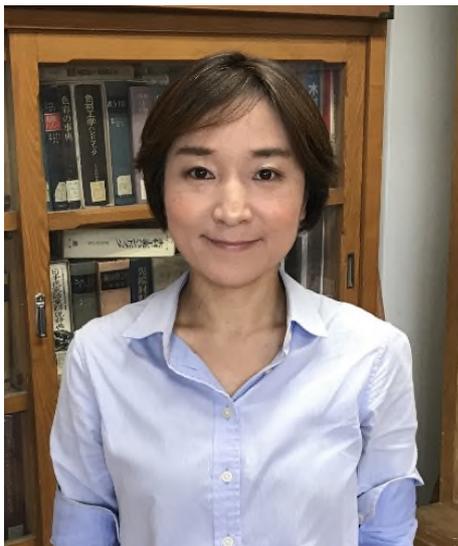
2012年 公益財団法人服部公益財団 理事就任

2017年 愛知県西三河林材団体連合会 会長就任

2022年 三州木材協同組合 理事就任

2022年 株式会社もりまち 取締役就任

●山崎真理子 氏
(名古屋大学教授)



プロフィール：

名古屋大学大学院生命農学研究科 森林・環境資源科学専攻 木材工学研究室
教授 学位：博士（農学）、博士（工学）

専門は木材工学。木材のマテリアル利用に軸足を据え力学的耐久性を研究。

また、都市部での木材利用を推進するため、専門家・実務家・学生・市民・異業種が一体となった実践的木育活動など、山間地と都市部，市民と専門家を繋ぐ活動も行う。

（NPO 法人都市の木質化 PJ 理事，ウッドデザイン賞、愛知環境賞銀賞、全国植樹祭ほか）。

【第4回】

●八田欣也 氏

(岡崎製材(株)代表取締役)



学歴 1975年 岡崎高校卒業
1980年 早稲田大学卒業

職歴 1980年 東京の銘木店 千葉の建設会社 を経て
1984年 岡崎製材株式会社入社
2000年 岡崎製材株式会社
代表取締役就任 現在に至る

資格 インテリアコーディネーター 宅地建物取引士

●佐藤岳利 氏

((株)ワイス・ワイス最高執行責任者)



プロフィール：

1996年、社内ベンチャー制度を活用し“豊かな暮らし”をテーマとするライフスタイルブランド「ワイス・ワイス」を創業。

フェアウッド100%による家具・空間づくりを提唱し、国産材やFSCなど認証木材を積極的に使う「WISE・WISE GREEN PROJECT」を展開。

2015年、宮城県くりこま山のスギを地元の人たちとつくるKURIKOMAシリーズでソーシャル・プロダクツアワード特別賞を受賞。

東京ミッドタウン（六本木）にて日常使いの伝統工芸をテーマに”暮らしの道具の専門店”WISE・WISE tools を運営。

国際環境NGOと共に「フェアウッド研究部会」を月1回ペースで開催し、違法伐採木材使用の抑止と国産材の啓蒙普及、木に関わる企業や個人のネットワークづくりを先導し、71回を迎える。

2019年『カンブリア宮殿』に出演。趣味は秘湯巡りの旅。

●小塚陽子 氏

(有限会社アルテシテ 代表取締役)



プロフィール：

NYで暮らした経験を経て「暮らしの視点から空間をトータルブランディング」をコンセプトに、女性力をいかした細やかな視点で、空間デザイン、アート、ホームステージングで、総合的なプランニング行う。

空間再生のブランディング、コンセプト立案、集客力向上ディスプレイ、医療福祉空間デザイン、暮らしの提案やパッケージデザイン等。

空間デザイン、まちづくり、ホームステージングの講演会やセミナーなど実績多数。

静岡健康長寿プロジェクト コンソーシアムメンバー、静岡県小山町 アドバイザー

日本ホームステージング協会セミナー認定講師

食空間コーディネーター、フードコーディネーター、整理収納アドバイザー、照明士

主な実績：

横浜中華街大通り 空間デザイン&アート

品川区武蔵小山創業支援センター リノベーション&ブランディング

大阪府大槻能楽堂 リノベーション

中国北京女学館 空間デザイン&ブランディング

横浜市の福祉施設 空間デザイン&ブランディング

病院 空間デザイン&ブランディング 他多数

受賞：

Best of Houzz 2018 受賞（世界最大の住宅ポータルサイト）houzz.jp/pro/arte-cite（ハウズ アルテシテ）

2019 ホームステージングコンテスト 準グランリ受賞

2018 ホームステージングコンテスト グランリ受賞

2016 ホームステージングコンテスト 準グランリ受賞

【第5回】

●高木大輔 氏

(小田原地区木材業協同組合 専務理事)



プロフィール：

小田原地区木材業協同組合 専務理事

小田原林青会 相談役

NPO 法人おだわら名工舎 理事

報徳の森プロジェクト 会長

かながわフォレストクラブ 共同代表

1972年神奈川県生まれ

大学卒業後 1997年に竹広林業株式会社に入社。途中 98年から3年間の一般企業勤務を経て、2010年に代表取締役社長に就任。

専務理事として所属する小田原地区木材業協同組合は、小田原市近隣の材木店16社の集まり。川上と川下を繋ぐ船頭役として、教育施設の木質化や公共施設への木材提供など、「小田原流木づかい」の普及に邁進中。また当組合の若手メンバーで構成する小田原林青会では、次世代へ小田原の豊かな森を継承すべく、こどもからおとなまでを対象とした木育や、木に親しむさまざまな地域イベントを企画・実施している。

職人育成や技術のタスキ渡しを目的とするNPO法人おだわら名工舎では、宮大工・鳶・造園など多岐にわたる職人と交わりつつ、木やそれにまつわる文化の浸透を目指して活動。東日本大震災後に発足した報徳の森プロジェクトでは、小田原の林業再生と被災地の応援、市民間の交流に、地域の仲間とともに楽しみながら取り組んでいる。

●若杉浩一 氏

(武蔵野美術大学教授)



プロフィール：

武蔵野美術大学 造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科 教授

1959年生まれ 熊本県天草市出身

1984年九州芸術工科大学（現、九州大学）芸術工学部工業設計学科卒

プロダクト、インテリア、建築、デザイナー

株式会社内田洋行入社、デザイン、製品企画、知的生産性研究所

テクニカルデザインセンターで製品開発と研究開発を行い、

2013年、内田洋行のデザイン会社であるパワープレイスにて、ITとデザインのメンバーを集めリレーションデザインセンター設立。

一方で、デザインの社会的意義を求め、2002年から、私的活動で地域や社会のデザインを実践

「日本全国スギダラケ倶楽部」を設立。

現在、設立20年、会員数2400名に達する。会員が、全国で様々な活動をしている。

2019年4月、武蔵野美術造形構想学部 クリエイティブイノベーション学科の教授として着任。

地域社会とデザインの未来を模索し、実践、研究している。

現在 東京藝術大学非常勤講師。兼務